

令和7年度第1回(第16回)大阪市大規模事業リスク管理会議 会議資料の修正について

令和7年10月27日に開催した令和7年度第1回(第16回)大阪市大規模事業リスク管理会議における委員意見を踏まえ、「会議資料1(JR 片町線・東西線)事業リスク管理の取組状況」について次の表により修正します。

下線部:追加、修正

修正後

修正前

9ページの赤枠内の文言を修正、追加する。

[illegible]

地価上昇の推移を注視し、リスク管理に努めるとともに、今後、設計を行う中で、用地取得範囲を小さくするような施工方法の模索等を行う。

地価上昇の推移を注視し、リスク管理に努めていく。

令和7年度 第1回（第16回）大規模事業リスク管理会議

- JR片町線・東西線連続立体交差事業- 事業概要

建設局

■リスク管理表

No.	想定リスク 大・中・小の範囲 または 想定リスクの内容	事業内容内訳	金額的影響度		リスク評価		発生確率		リスクコア		対応区分	対応策
		積算内容・金額（うち費用）	① コスト 削減	想定内容・影響額（うち費用）	② コスト 増大		想定内容		③×④	⑤×⑥		
1	大分類：事業費の増加 中分類：工事費増減の発生 小分類：物価高騰 社会情勢の変化による事業費増減（工事費増減）	【積算内容】 物価変動について令和7年度に一定の想定であるが、社会情勢の変化により事業費増減費用計上している。 【事業費】0億円（0億円）	高	西 【影響額】188億円（85億円）	中	西 今後社会情勢の変化によっては、リスクが生じる可能性はある。	4	西	受容	物価上昇の影響を認識し、リスク管理に努めている。		
2	大分類：用地費の増減 中分類：社会経済環境の変化 小分類：地価高騰 物価高騰による事業費増減	【積算内容】 都市計画決定前の概工事業採択段階でありながら、地価変動による事業費増加費用は計上していない。 【事業費】0億円（0億円）	高	西 【影響額】0億円（0億円）	中	西 今後社会情勢の変化によっては、リスクが生じる可能性はある。	4	西	受容	物価上昇の推移を注視し、リスク管理に努めている。		
3	大分類：事業費の増加 中分類：事業費増減の発生 小分類：建築費増減・後継者確保困難 労働力不足に伴う事業費増減	【積算内容】 都市計画決定前の概工事業採択段階でありながら、労務需要増減による事業費増減費用計上していない。 【事業費】0億円（0億円）	中	西 【影響額】23億円（42億円）	中	可 他事業で人材取得の遅れに伴う事業費増減が生じていることから、リスクが生じる可能性がある。	3	可	軽減	事業認可後、計画的な人材獲得に向けて、関係者等への交渉に努めている。		
4	大分類：工事費の増減 中分類：地盤・地質（自然災害）等の発生 小分類：工事費増減等 技術的課題に対応できないことによる事業費増減	【積算内容】 すべての発注士が土壌汚染されている場合の費用は計上にしない。 また、特定工事費増減等がない限り発生しない。他事業との重複を考慮して、重複設計・調査を実施していないため、現時点では影響額の算出は不可。 【事業費】90億円（90億円）	中	西 【影響額】一億円（一億円）	高	西 他事業で工事費増減等が出てきていることから、リスクが発生する可能性がある。	4	西	軽減	詳細調査を実施できるタイミングで、必要箇所と照らし合わせてリスク管理に努めている。 特に事業許可後の調査において、関係者に連携して事業計画を見直す。		
5	大分類：工事費の増減 中分類：不確定要素の発生 小分類：設計変更等 経費削減、設計変更による事業費増減（工事費増減）	【積算内容】 都市計画決定前の概工事業採択段階でありながら、現時点での設計変更や変化による事業費増減費用は計上していない。 【事業費】0億円（0億円）	中	西 【影響額】99億円（45億円）	中	西 他事業で工事費増減等で変更が生じていることから、リスクが生じる可能性がある。	3	西	軽減	別にも事業や想定以上のリスクが発生した場合迅速かつ的確な対応を行い、必要に応じて事業計画の見直しを行う。		